

錦江町土づくり支援センターについて

錦江町は農業が基幹産業であり、安心・安全な農作物の生産には土づくりが一番の基本であります。

また、町内には多くの和牛飼育農家があり、農業用の堆肥原料として最も有効な牛糞が豊富にあります。この地域資源を有効活用した上質な堆肥を生産し、地元農家に供給することにより、土づくりによる土壌改良を進め、農作物の品質向上と、農家所得の向上を図るという目的で、堆肥センターの施設整備を行うものです。

また、有機質堆肥を活用することにより、化学肥料を低減した環境保全型農業の推進にも取り組みます。

◎施設建設の概要

補助事業名：資源リサイクル畜産環境整備事業

事業主体：鹿児島県地域振興公社

事業実施年度：平成19年～21年

完了予定：平成22年3月末

総事業費：239,613,000円…現在での計画金額です。

うち国庫補助金 118,156,000円（約50%）

県補助金 52,537,000円（約22%）

※町負担金 68,920,000円（約28%）

…町負担金は合併特例交付金で対応します。

※合併特例交付金とは…平成18年3月31日までに合併した市町村に対し、県を通じて交付されるもので、実施期間は合併後5ヶ年間までで、対象事業として市町村建設計画に基づく施設整備事業も該当する。

よって町費の持ち出しの少ない事業となっています。

上記総事業費以外…施設の用地取得費 7,813,400円（町費）



建設中の土づくり支援センター
(錦江町神川、町総合運動公園先)

◎事業内容

事業種目	事業内容・事業量
基盤整備	・畜産施設用地造成整備 7,000㎡ ・周辺環境基盤整備 4,000㎡
施設整備	・ <small>かくはん</small> 攪拌発酵処理施設 2,302㎡ ・堆肥散布車、ショベルローダー他 一式

◎施設運営のイメージ

畜産農家

- 糞尿を水分調整

特装運搬車で収集、搬入

土づくり支援センター

- 攪拌発酵処理施設で堆肥化
- 発酵促進微生物（土着菌）の投入による優良完熟堆肥の製造
- バラ堆肥、袋堆肥の製品販売
- 土壌診断に基づく作付指導

耕種農家

- 圃場形態、土壌診断に基づく堆肥の利用

圃場や作物の形態に対応した堆肥散布を実施
(2t車やクローラ型、茶用散布機)

☆施設の稼働予定・・・平成22年2月試運転

☆堆肥の供給予定・・・平成22年8月頃から